



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クレハ

コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 数井 明生

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-3249-4651

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	58,852	△9.0	4,214	40.1	3,957	55.4	△975	—
23年3月期第2四半期	64,642	8.2	3,008	474.9	2,547	528.1	1,253	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △942百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,086百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△5.68	—
23年3月期第2四半期	7.08	7.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	178,219	87,720	48.8
23年3月期	181,753	89,500	48.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 86,923百万円 23年3月期 88,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	1.3	6,500	2.4	6,000	6.4	500	△27.8	2.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	181,683,909 株	23年3月期	181,683,909 株
24年3月期2Q	10,012,760 株	23年3月期	10,017,010 株
24年3月期2Q	171,669,076 株	23年3月期2Q	177,096,267 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	P4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P4
3. 四半期連結財務諸表.....	P5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P9
(4) セグメント情報等.....	P9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結売上高は前年同期比9.0%減の588億52百万円、営業利益は前年同期比40.1%増の42億14百万円、経常利益は前年同期比55.4%増の39億57百万円となりました。

四半期純損益につきましては、東日本大震災の余震等に伴う災害損失等を計上し、前年同期12億53百万円の四半期純利益から9億75百万円の四半期純損失となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減	前第2四半期	当第2四半期	増減
機能製品事業	17,026	15,890	△1,135	109	587	478
化学製品事業	15,892	14,802	△1,089	2,412	2,870	458
樹脂製品事業	20,813	17,110	△3,703	1,147	672	△474
建設関連事業	5,027	4,968	△58	△524	341	866
その他関連事業	5,883	6,080	197	22	388	365
消去	—	—	—	△158	△647	△488
連結合計	64,642	58,852	△5,790	3,008	4,214	1,205

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は東日本大震災の影響により国内工場が5月中旬まで操業休止となり、又、米国における合弁事業の増産態勢整備に時間を要し、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は、リチウムイオン二次電池(LiB)用バインダー及び工業用素材用途が5月初旬まで操業休止となりましたが、期後半に挽回し、売上げ、営業利益共、前年同期に比べ増加いたしました。

炭素製品分野では、炭素繊維は太陽電池パネル製造用等の高温熱処理炉用断熱材用途の需要増加に震災前の在庫を活用して対応しつつ、期後半に生産を挽回したことに加え、前期までの設備償却負担も減少し、又、特殊炭素材料は電池用負極材用途の早期操業再開に努め、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

PGA(ポリグリコール酸)樹脂は、米国における工場建設が完了したものの、試運転段階であり、営業損失は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比6.7%減の158億90百万円となり、営業利益は前年同期比436.9%増の5億87百万円となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」は売上げが減少いたしました。慢性腎不全用剤「クレメジン」は売上げが増加し、又、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出が増加し、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類、クロルベンゼン類は5月中旬に製造工場が操業を再開したものの、一部に震災からの需要回復の遅れがあり、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比6.9%減の148億2百万円となり、営業利益は前年同期比19.0%増の28億70百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは前年同期に比べ増加いたしました。家庭用ラップ「NEWクレラップ」は原料である塩化ビニリデン樹脂製造工場の操業度回復に期後半まで時間を要し、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルムは売上げが減少し、ラミネート用ハイバリア・フィルム「ベセーラ」は事業譲渡いたしました。多層ボトルは売上げが増加いたしました。クレハ・ベトナムの製品はコスト負担を吸収するまでに至りませんでした。引き続き改善傾向にあり、又、欧州子会社は材料費が高騰したものの、売上げが増加し、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

包装機械はクリップレス自動充填結紮機の大口出荷があり、営業利益は増加いたしました。中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは塩化ビニリデン樹脂製造工場の操業度回復に期後半まで時間を要し、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比17.8%減の171億10百万円となり、営業利益は前年同期比41.4%減の6億72百万円となりました。

④建設関連事業

建設事業は、震災の影響により前期から繰り越された公共工事の完工に加え、民間建築での復旧工事の増加、新築工事の減少があったことなどにより前年同期並の売上げとなりました。経費の削減等採算性の改善に努めた結果、前年同期の営業損失から営業利益となりました。

エンジニアリング事業は、震災の影響もありプラント建設での工事進捗に遅れがあったこと及び産業廃棄物処理設備の建設などの大型案件受注がなく、前年同期に比べ売上げは減少いたしました。経費削減等に努めた結果、営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比1.2%減の49億68百万円となり、営業損益については前年同期5億24百万円の営業損失から3億41百万円の営業利益となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、取引先企業が被災した影響もあったことから稼働減となり、前年同期に比べ売上げ、営業利益共に減少いたしました。

環境事業は、既存事業所（福島県いわき市）での震災による廃棄物処理が大幅に増加したことに加え、新事業所（神奈川県川崎市）での受注量・受注単価ともに増加し、前年同期に比べ売上げは大幅に増加いたしました。又、営業損益は前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比3.4%増の60億80百万円となり、営業利益は前年同期22百万円から3億88百万円に増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、震災後の売上げ・生産減少による債権・たな卸資産の減少、前期末における緊急時の手元流動性確保を解除したことなどにより、前期末に比べ55億98百万円減の585億63百万円となりました。有形固定資産は、海外生産拠点を含む高水準の設備投資が償却費増加を上回り、前期末に比べ35億5百万円増の874億22百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より下落したことにより、前期末に比べ14億81百万円減の313億24百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ35億33百万円減の1,782億19百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加と長期借入金の減少との差し引きにより、前期末に比べ6億96百万円増の555億80百万円となりましたが、操業度低下に伴う仕入債務の減少、震災後の復旧工事進捗に伴う災害損失引当金の減少などにより、負債合計として前期末に比べ17億53百万円減の904億99百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純損失9億75百万円を計上、剰余金の配当8億58百万円を実施し、株式の評価差額金の減少、少数株主持分の増加などの差引きとして、純資産合計は、前期末に比べ17億80百万円減の877億20百万円となりました。

このような総資産の変動は、震災による債権債務の変動、株価等の外部要因を除いて、海外等の設備投資及び一部設備稼働に伴い、追加的資金調達を行うなど事業展開を進めたことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、欧州債務危機などを背景とした減速懸念、国際的な株式・金融市場の不安定化や為替の動向など、先行きが不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、東日本大震災及びいわき市を震源とする余震により、生産設備の一部に被害を受けましたが、復旧作業はほぼ終了しております。引き続き、炭素繊維、ふっ化ビニリデン樹脂などの機能製品事業の拡大、慢性腎不全用剤「クレメジン」や農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」のグローバル展開、PGA（ポリグリコール酸）樹脂やリチウムイオン二次電池（LiB）用負極材の事業化推進等の施策の遂行に取り組みます。

なお、東日本大震災及びその余震による災害損失、並びに2012年3月期第2四半期における投資有価証券評価損の発生に伴う特別損失の計上等により、業績予想の修正を行っております（2011年11月2日付公表）。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2011年5月12日付)	134,000	6,500	6,000	1,200	6円99銭
今回修正予想 (B) (2011年11月2日付)	134,000	6,500	6,000	500	2円91銭
増減額 (B-A)	—	—	—	△ 700	—
増減率 (%)	—	—	—	△ 58.3	—

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,746	6,055
受取手形及び売掛金	27,294	26,431
商品及び製品	12,800	12,173
仕掛品	1,381	1,993
原材料及び貯蔵品	5,013	4,560
その他	7,023	7,460
貸倒引当金	△98	△112
流動資産合計	64,161	58,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,519	27,931
機械装置及び運搬具（純額）	22,711	21,460
建設仮勘定	17,886	23,307
その他（純額）	14,800	14,724
有形固定資産合計	83,917	87,422
無形固定資産	868	909
投資その他の資産		
投資有価証券	18,184	16,759
その他	14,737	14,679
貸倒引当金	△116	△115
投資その他の資産合計	32,805	31,324
固定資産合計	117,591	119,656
資産合計	181,753	178,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,156	13,998
短期借入金	13,455	15,235
未払法人税等	673	568
賞与引当金	1,977	1,920
災害損失引当金	1,821	452
役員賞与引当金	28	24
その他	16,939	17,420
流動負債合計	49,051	49,620
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	17,429	15,345
退職給付引当金	769	712
役員退職慰労引当金	365	303
環境対策引当金	163	163
資産除去債務	774	780
その他	3,698	3,572
固定負債合計	43,200	40,878
負債合計	92,252	90,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,456	9,149
利益剰余金	71,935	70,408
自己株式	△4,542	△4,540
株主資本合計	89,310	87,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,723	3,651
繰延ヘッジ損益	△36	△41
為替換算調整勘定	△4,164	△4,165
その他の包括利益累計額合計	△477	△555
新株予約権	64	72
少数株主持分	603	724
純資産合計	89,500	87,720
負債純資産合計	181,753	178,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
売上高	64,642	58,852
売上原価	47,976	42,079
売上総利益	16,666	16,772
販売費及び一般管理費	13,657	12,558
営業利益	3,008	4,214
営業外収益		
受取利息	32	27
受取配当金	319	357
持分法による投資利益	175	109
その他	124	177
営業外収益合計	651	672
営業外費用		
支払利息	391	406
売上割引	241	148
為替差損	230	154
その他	250	218
営業外費用合計	1,113	928
経常利益	2,547	3,957
特別利益		
事業譲渡益	—	700
固定資産売却益	4	8
投資有価証券売却益	210	1
その他	66	130
特別利益合計	280	841
特別損失		
災害による損失	—	3,572
投資有価証券評価損	46	1,203
固定資産除売却損	70	205
減損損失	—	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	184	—
その他	107	100
特別損失合計	408	5,153
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,418	△354
法人税等	1,280	499
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,137	△854
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△115	120
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,253	△975

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	1,137	△854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,341	△83
繰延ヘッジ損益	—	△4
為替換算調整勘定	△804	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	△79	25
その他の包括利益合計	△2,224	△87
四半期包括利益	△1,086	△942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△951	△1,052
少数株主に係る四半期包括利益	△135	110

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,026	15,892	20,813	5,027	5,883	64,642	—	64,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	357	186	587	2,920	3,902	7,954	△7,954	—
計	17,383	16,078	21,400	7,948	9,785	72,597	△7,954	64,642
セグメント利益又は 損失(△)	109	2,412	1,147	△524	22	3,167	△158	3,008

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,890	14,802	17,110	4,968	6,080	58,852	—	58,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	666	163	563	4,976	3,318	9,687	△9,687	—
計	16,556	14,965	17,673	9,945	9,398	68,540	△9,687	58,852
セグメント利益	587	2,870	672	341	388	4,861	△647	4,214

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。